No.129　2010 春号＋

大庭みちよし 後援会 ニュース

No.129
2010
春号

Ohba Michiyoshi kouenkai News

市民皆様のご質問から

後援会皆さまから寄せられる数多くの御意見

■掛川・袋井市民病院の進捗状況は？

掛川・袋井新病院完成予想図

平成２４年度完成に向け概ね順調に準備が進められています。新病院建設基本計画の概要も定まり、診療科目３２科、ＩＣＵ等救急病床２２床、個室割合３０％など、５００床規模の病院となります。またＰＥＴセンターも整備されます。

建設概算事業費２２５億円、一般会計からの繰り入れを両市で５年目までは１４億円から１５億円、６年目以降は１０億円を想定しています。新病院長は、常滑市民病院副院長の名倉英一氏（60）の就任が決まりました。新病院開設まで掛川市民病院長としての勤務となります。今年度から造成工事、２３年度から建築工事に入る予定となっています。袋井市議会の中では、基本計画の内容や病院周辺の道路負担のあり方について、多くの議論が交わされています。

■国道一号袋井バイパスの４車線化は？

バイパス４車線化で渋滞緩和が期待される

国一バイパス（三ヶ野ＩＣ～掛川市澤田ＩＣまでの９．１ｋｍ）のうち、三ヶ野から堀越ＩＣまでの４車線化は、平成２４年度供用開始を目指し、土橋高架橋の下部工を平成２２年度春から着手。国本ＩＣ～澤田ＩＣまでは今後立体化を検討する予定となっています。なお磐田市側は工事着手済みです。

■保育園に入りたくても入れませんが？

認可外保育園も認証補助制度導入で入りやすくなっている

ここ３年、人口比では県内で最も待機児童の多いまいちとなり、議会でも大庭議員より多くの提案がされています。市では、対策として民間の愛野幼保園や市中央部に保育所を建設するとしています。また、今年度から認証保育制度を設けて民間の認可外の保育所の運営費や、保護者の支援をするための補助制度を設けました。その他保育ママ事業で幼児を受け入れたり、幼稚園の預かり保育で改善を図っています。約５０人（４月現在）もいる待機児童の解消に向け引き続き努力していきます。

■エコ機器の購入補助は他市と比べてどうですか？

市内でも４６７件の補助がされている太陽光発電

太陽光発電システム等新エネ、省エネ機器の補助金は太陽光発電は上限補助額が袋井市８万円、磐田市４万円、掛川市２万円と、隣接掛川や磐田市に比べ有利になっていますが、御前崎や湖西市の１２万円に比べ少なくなっています。しかし、その他、エコキュート、エコジョーズ、ハイブリッド車等への補助金２万円、太陽熱温水器等３万円の補助金があるなど、中東遠地域をはじめ県西部でも良い条件となっています。

詳しい問い合わせは　袋井市環境政策課環境企画係　0538-44-3135　まで。

後援会へのご支援に
感謝申し上げます

皆様からのご意見お待ちしています。

大庭のホームページ

■http://www2s.biglobe.ne.jp/~mitiyosi/index.html

■Ｅメール　ohba@mxu.mesh.ne.jp

大庭議員も参加している最近の議会改革の会議風景　熱気の中で（東京財団主催）
2010.1.25

農地・水・環境事業の一環として地域でホタルの幼虫を放流する大庭議員
2010.3.12

掛川・袋井新病院建設予定地を病院建設の議会議員として現地踏査する大庭議員
2009.10.30

浅羽の海岸で松の苗木を植樹する大庭議員（グリーンキャンペーン）
2010.2.1

スライド（パワーポイント）を使って議会報告をする大庭議員
2010.3.26

発行所大庭通嘉後援会
事務所〒437-0055 袋井市土橋187
TEL･FAX 0538-42-1925

袋井市議会2月定例会報告

---１０周年を迎えた「東海道どまん中茶屋」・関係皆さまに感謝！---

平成１３年東海道宿駅４００周年に向けて平成１１年、初代広重の「東海道五十三次袋井出茶屋ノ図」をモチーフに整備された。東海道を旅する人たちが立ち寄り、今では年間１万人、この１０年間で１０万人が立ち寄ってくれている。。市より運営委託を受けているどまん中茶屋親好会や地元の皆さまによって守られている。１月３１日，１０周年を祝う行事がにぎやかに開催された。

まぶしい日差しをうけて若葉が一層鮮やかになってまいりました。さわやかな季節の到来です。

後援会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃は大庭後援会に対しまして、格別のご指導賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、今年度は浅羽と合併し6年目を迎えることとなりました。この5月16日には新築されたメロープラザ（旧浅羽会館）において合併後の5年間を振り返るとともに、さらなる新市の飛躍を期して市制施行5周年記念事業が開催されます。当日は都市宣言や、市の花、木、鳥が発表されることになっていますが、節目にふさわしい市民の式典になることを期待したいと思います。

さて、厳しい経済環境が続く中、袋井市の平成22年度の予算がスタートいたしました。この定例会冒頭、市長からは協働の思想をさらに進め「市民と行政がパートナーシップ」によって新たな第1歩を踏み出し、「市民が”主役”として輝くまちづくりを目指す」との市政方針が示されました。

地域主権が叫ばれる今日、行政が市民に何をしてくれるかということも重要ですが、それ以上に市民がまちづくりの為に何が出来るかということも求められる時代になってまいりました。幸い、この地域では報徳精神もあり、勤労、分度、推譲、倹約といった考え方のもと、各種事業が既に自主的に市民皆様の協力によって実践されていますことは心強いことだと思います。

しかし、それだけに行政「市役所」が担うべき役割も大きく、より質の高いものでなくてはなりません。私は今議会でもそうした視点から、市長の政治姿勢や行政の仕事の進め方などについて一般質問（提言）をいたしました。

今、行政に求められるものは様々ですが、まちの限られた資源（人・モノ・金・情報）や歴史・文化などの特性を活かし、スピード感と優先順位をつけて確実な仕事をすべき時と思います。

これまでの、経験を生かして活動してまいります。倍旧のご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

袋井市議会議員　大庭通嘉

平成22年度　袋井市当初予算

一般会計総額　295億1,000万円　前年対比1.8％増

□ 2月定例会開会

平成22年度2月定例議会は、さる2月23日に開会し、右表の会計予算及び、下記の議案等が審議され、市長提出議案43件の全議案と議員提出議案3件を、それぞれ可決承認し、また、請願1件に意見を付し不採択すべきものとして３月23日、29日間の会期を閉じました。

□ 上程議案一覧

- 平成22年度袋井市一般会計予算について
- 平成22年度袋井市国民健康保険特別会計予算について
- 袋井市メロープラザ条例の制定について
- 袋井市子ども早期療育センター条例の制定について
- 日本一健康文化都市宣言について・核兵器廃絶平和都市宣言について

　　ほか　41件　議員提出議案　全議案可決

- 請願　総合運動公園を緑の基本計画に残す請願書

□ 市政運営の基本方針

平成22年度の市政運営方針は

1.「安全快適な生活環境づくり」
2.「活力ある地域づくり」
3.「市民の力が活きるまちづくり」

〇農を活かしたまちづくり　●行財政改革の推進

□ 平成22年度予算の概要（歳入）

平成22年度の袋井市の一般会計は295.1億円で、前年比1.8%の増となりましたが、子ども手当の拡充分10.2億円を除いた実質では1.7%減となります。

歳入のうち市税が景気低迷の影響から6.2%減の135.49億円、この中で法人税は33.3%減の約8.2億円となっています。地方交付税は5.3%減の18億円。市債は48.34億円で3.4%増となり、このうち19億円は臨時財政対策債（自治体が地方債を発行し、後年度に費用分を国が地方交付税で措置する制度）で対応します。財政調整基金（貯金）から9.16億円繰り入れ、実質公債費比率は14.5%（公債費が財政に及ぼす負担で18%以下が望ましい）となります。袋井市の地方債の現在高は昨年より13.6億円増加し、273.25億円となります。

□ 主な事業の概要（歳出）

事業の主なものとして、月額1.3万円支給する子ども手当に17.2億円、愛野幼保園整備費補助に2.055億円、認可外保育園などを支援する認証保育園制度に1,970万円を充てています。今なお人口比県下一（2月現在68人）の待機児童がいることは憂慮すべき状況です。なお、北小学校プール改築に8,220万円、今年と来年で8教室増築する山名小学校校舎には2,530万円を予算化しています。

また、乳幼児医療費扶助に1.727億円、配食サービスに1,260万円、市内全小学校に給茶器を設置する事業に2,580万円、市民農園拡充400万円など農を活かしたまちづくり事業に4,430万円、市営墓地公園整備事業に200万円、中遠クリーンセンターの余熱利用センター（プール）に13.3億円を支出、さらに、市制施行5周年事業に1,180万円を予算化しています。

この他に浅羽支所周辺地区エントランス広場整備事業として、浅羽会館解体工事や（仮称）近藤記念館新築工事、軽便鉄道メモリアルパーク整備等に2.531億円予算化し、平成23年10月完成をめざし事業が進められる予定となっています。

□ 平成22年度予算一覧

〈単位：万円　対前年増減率〉

一般会計		2,951,000	1.8
特別会計	国民健康保険会計	740,300	6.2
	老人保健会計	1,800	119.5
	後期高齢者医療	55,500	▲4.8
	土地取得会計	30,00000	0.0
	公共下水道会計	217,200	▲22.5
	駐車場会計	7,500	▲8.5
	農業集落排水会計	1,750	▲4.4
	訪問看護事業会計	2,940	4.6
	介護保健会計	444,400	▲0.6
	小計	1,501,390	▲1.7
企業会計	水道事業会計	231,900	▲1.9
	病院事業会計	594,100	▲3.0
	小計	849,100	▲2.7
総計		52,783,900	0.1

□ 平成22年度主な事業一覧

〈◎新規事業　単位：万円〉

【子育て応援体制の充実】	
◎子ども手当	172,000
◎愛野幼保園整備費補助	20,550
◎認証保育所制度	1,970
北小学校プール建設事業	8,220
◎山名小学校校舎増築事業	2,530
【福祉医療体制と保険事業の充実】	
乳幼児医療費扶助	17,270
◎配食サービス	1,260
◎児童デイサービス	2,400
掛川市・袋井市新病院建設事業	9,040
袋井市民病院補助	97,700
妊婦健康診査助成	8,530
【農を活かしたまちづくり】	
◎給茶器設置事業	2,580
市民農園拡充事業	400
◎袋井特産物宣伝隊	1,000
【災害対策のさらなる推進】	
◎緊急地震速報受信システム整備	1,000
木造住宅耐震補強助成事業	3,4000
【その他】	
◎市営墓地公園整備事業	200
余熱利用施設整備	133,000
◎市制施行5周年事業	1,180
◎浅羽支所周辺エントランス	253,169

墓地公園

平成19年市営墓地基本構想策定、墓地意識調査実施。21年度三川地区に候補地決定、22年度地元と調整、林地開発など事前打ち合わせを実施予定。23～25年度実施設計、用地買収、26年度造成工事、27年度分譲開始。

メロ-プラザ

旧浅羽会館耐震対策や南部の拠点施設としてのメロープラザが5月16日会館。周辺には（仮称）近藤記念館も10月新築完成予定。また（仮称）軽便鉄道メモリアルパークやエントランス広場が23年10月完成予定。

余熱利用

愛称募集７０３件の中から風見（かざみ）の丘に決定。クリーンセンターの余熱を利用し温水プールや温浴施設、トレーニング室やフィットネス施設を整備する。総事業費は約１５億円。来年４月完成予定。

幼稚園落成

山梨幼稚園舎が落成した。総事業費14.6億円。保育室13室、大遊戯室、等を整備。280人の園児を予定。預かり保育2～5時も受け入れていく。当初幼保園を計画したが断念。幼稚園のみの建設となった。

大庭の市政に対する「一般質問要旨」から

（議会で一般質問する大庭議員）

■ ２２年度予算

問 平成22年度の予算編成の考え方は。

答 市民が“主役”として輝くまちづくりを目指し『保健』『医療』『福祉』『子育て・教育』『農を活かしたまちづくり』の分野に重点を置いて編成した。

問 厳しい税収に対する対応は。

答 市税全体では、６．２パーセント減の１３５億円余を見込んだ。個人市民税は、前年度対比－１２．０%、法人市民税は、－３３．３%減と厳しい。歳出は、福祉や医療などが増加、なお投資的経費は抑制した。道路や排水路整備などは前年並みの予算を確保した。

■ 行政改革

問 行政改革の推進をしっかりすべき。

答 定員管理や給与の適正化、指定管理者制度の導入、事務改善や補助金の見直しなど、一層取り組みたい。

問 掛川、磐田では厳しい財政を受け市長を筆頭に人件費を下げている。袋井でも議会は定数も減らし、歳費も６万人口並みに抑制しているのに対し、市職員は合併後、正規職員は減らしても嘱託は増え全体では増加している。袋井市の財政はそれほど厳しくないのか。

答 厳しい状況にある。

■ 経済対策

問 市の緊急総合経済対策は進んでいるか。

答 相談体制の強化や、解雇等離職者への市営住宅等の貸し出し、外国人児童生徒の支援強化に努めてきた。

問 雇用は創出はできたか。

答 緊急雇用創出など６７人の雇用を創出した。

問 市内中小企業の支援は十分か。

答 １２月までに９０件、約７００万円の発注を行った。また、国からの交付金を受け、緊急保証料補助制度の新設や、プレミアム商品券への補助、事業規模３６００万円の建設工事の前倒しを行うなどしてきた。

（緊急経済対策で雇用創出を）

問 最近の雇用情勢はどうか。

答 磐田管内の有効求人倍率は、昨年７月に過去最低となる０．２３を記録し、１２月には０．３０と低い数値で推移。引き続き優良企業の誘致に全力で取り組む。

■ 事業仕分け

問 袋井市の事業仕分けの進め方は。

答 市民の皆さんと、意見を取り交わしていく場、「意見交換会」として進める。

（事業仕分けに真剣に臨む市民代表者の皆さん）

問 事業の選定をどう考えているか。

答 事業の選定方法や対象事業について、行政改革推進委員会と協議し、市議会とも協議していきたい。

問 事業仕分け（意見交換会）委員の選考は。

答 公募による委員選定のほか、事業に関連した経験や関わり、世代や性別などにも配慮しつつ選定したい。

問 事業仕分けの効果は。

答 仕分けでやめると決めた事業７本、かえる事業２７本等、効果額は２９００万円となった。

（平成22年）3月4日（木曜日）

袋井市議会

市民との対話「有意義」

意見交換会 市長が評価 34事業で削減効果

袋井市議会二月定例会は三日、本会議を再開。前日に続き一般質問を行い、大庭通嘉氏ら（省略）が質問した。

市の事務事業の点検や検証に幅広い意見を取り入れるため、一月に開いた市民との意見交換会について原田英之市長は「見直した事業は三十四件で、約二千九百万円の削減効果があった。行政の方向性について市民と語り合う有意義な機会となった」と評価した。

（大庭議員の質問概要抜粋）

■ 環境問題・温暖化防止対策

問 袋井市全体の１９９０年対比２０２０年のＣＯ２削減目標は何%か。

答 国の－２５%削減に対し、袋井市は＋５４%。部門別排出量は産業６０%、運輸１０%、業務１０%、家庭２０%。市としては、家庭部門の削減に働きかける。

問 袋井市役所の温室効果ガスの削減取り組みは。

答 ２００４年対比２０１０年の目標－６%に対し、＋１４%（１９９０年度換算では＋４０%増）と達成できない。今年は次期計画策定にむけ、太陽光発電やＬＥＤ照明の普及に取り組む。

問 袋井市の省エネ（エコ機器）機器の普及率は。

答 平成２２年２月現在、太陽光発電補助件数４６７件、太陽熱温水器１０７件、風力発電１件、クリーンエネルギー自動車９９件、エコキュート８４４件、エコウィル１件、エコジョーズ４８３件となっている。

問 エコ機器購入時の上乗せ支援策は。

答 平成２２年度から、太陽光発電１ｋｗ１万円を２万円に、上限４万円を８万円にする。風力発電は過去に話があったが、市民から景観、安全性等懸念の声やもあり事業化に至らなかった。計画があれば導入検討する。

（メリットも大きいが賛否がある風力発電）

問 ＣＯ２削減に向け事業所との連携は。

答 連携し努力したい。

問 ＣＯ２削減に向けての袋井市版の工程表は。

答 太陽光発電システムや高効率給湯器などの普及にむけ個別の事業計画を検討する。

問 電動アシスト自転車等の購入補助については。

答 エネルギー機器導入促進奨励金の対象機器として検討する。

問 バイオマス構想実現に向け先進地の事例をもとに堆肥化に向け事業推進をすべき。

答 大庭議員提案の栃木県茂木町の例を参考に推進したい。

問 合併浄化槽の維持管理費を見直しは。

答 市民からの減額要望も高まっているので、清掃料金の見直しに向けて検討する。

昨年大庭議員が質問したＪＲ袋井駅舎の建設時期が2月定例会の市長答弁で大幅に後退した。

本来、合併して平成22年秋には供用開始を目指していたが、国とＪＲが整備方針の協議の為中断され、24年度末までには供用開始したいと市長は方針変更していた。

しかし、今年になり22年度に覚書きを変更し、23年詳細設計、24.25年で工事をし26年供用開始との答弁に大幅に変わった。

市営墓地も、19年の大庭議員の質問に対し23年度中には完成を目指すと答弁していたものが、今年の方針では、27年度分譲開始と変更となった。

国本のにぎわい新都心（大型ＳＣ）も18年度から庁内プロジェクトで進めているが、どのようなものを作ろうとしているのか、全く見えてこない。市は23年度以降、農地除外をし都市計画決定手続きを開始するとしているが、保証はない。他の事業でも日程が守れていないものが多い。

前の故豊田市長は、温厚な方だったが日程管理には厳格で、出来る仕事、出来ない仕事の見極めが適格だった。

いま市に必要なことは優先順位をつけＰＤＣＡをしっかり回すことが大切だと思う。

話題の「事業仕分け」も本来その事が出来ているのかどうかのチェックのはずだ。